

種名	<h2 style="margin: 0;">ハシボソガラス</h2> <p style="margin: 0;"><u>Corvus corone</u></p>													
														
分類	スズメ目カラス科													
特徴	農村に多い、細めのくちばしをしたカラス類。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯で広く繁殖し、日本では北海道から九州までの各地に留鳥として数多く繁殖する。狩猟鳥。													
生活	屋敷林に囲まれた集落が点在するような農村が典型的な生活場所である。主に畑などの地上で採餌し、歩いたりね歩いたりしながら、穀類、豆類などの農作物や昆虫やクモなどの小動物、動物の死体やゴミなどを食べる。植物質の餌をとる割合が高く、食物を貯える習性を持つ。繁殖期にはつがいで縄張りを持ち、樹上に営巣する。非繁殖期には家族単位にいろいろな大きさの群れで行動し、集団ねぐらを持つ。													
声	普通は少し濁った声で「ガワーガワー」と鳴くことが多い。ディスプレイの時には、木の梢や屋根の上などにとまって翼を下げ、頭を上下させて「グウラグウラ」とか「カポンカポン」と聞かれる声で鳴くことがある。この動作はハシブトガラスには見られない。													
見分け方	ハシブトガラスによく似ているがやや小さく、くちばしは細く、おでこの間は段にならない。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L)50cm 翼開長(W)99cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														